

第3章 福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査

第3章 福岡市墓地・納骨堂に関する経営者アンケート調査

1 調査概要

(1) アンケートの目的

この調査は、福岡市で墓地・納骨堂を経営する法人及び本市と生活圏を共にする近郊の市町において一定規模以上の墓地・納骨堂を経営する法人を対象に、供給実態等を確認し、福岡市の墓地行政の参考とすることを目的として実施した。

(2) 調査時期

調査票発送 令和7年8月1日 回収締切 令和7年9月5日

(3) 調査の対象

総発送数 399団体

《発送団体の内訳》

●福岡市内において墓地・納骨堂を経営する271団体

市内で許可を受けて経営する団体。平尾霊園・三日月山霊園・西部霊園の3ヶ所の区画数を加算し集計を行った。

●福岡市近郊（※）において墓地・納骨堂を経営する128団体

福岡市近郊において・墓地を経営する団体とは、300区画若しくは1,000㎡以上の営業規模を持つもの、または納骨堂100壇以上の経営規模を持つもの。但し、自治体が経営するものを除く。

※福岡市近郊の市町（以下を市外と記す）とは、生活圏を共にする地域で、本市から交通機関を用いて概ね1時間程度で到達できる市町を言う。

（対象市町）

- ・筑紫地区：筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川市
- ・宗像地区：宗像市・福津市
- ・粕屋地区：古賀市・宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・久山町・粕屋町
- ・糸島地区：糸島市

(4) 調査方法

郵送により送付・回収

(5) 調査票

別添（P53～57）

(6) 回収数

・発送数 399 ・有効回収数(サンプル数) 206 ・有効回収率 51.6%

(7) 集計・分析

株式会社 東京商工リサーチ 福岡支社

2 経営者アンケートの調査結果・分析

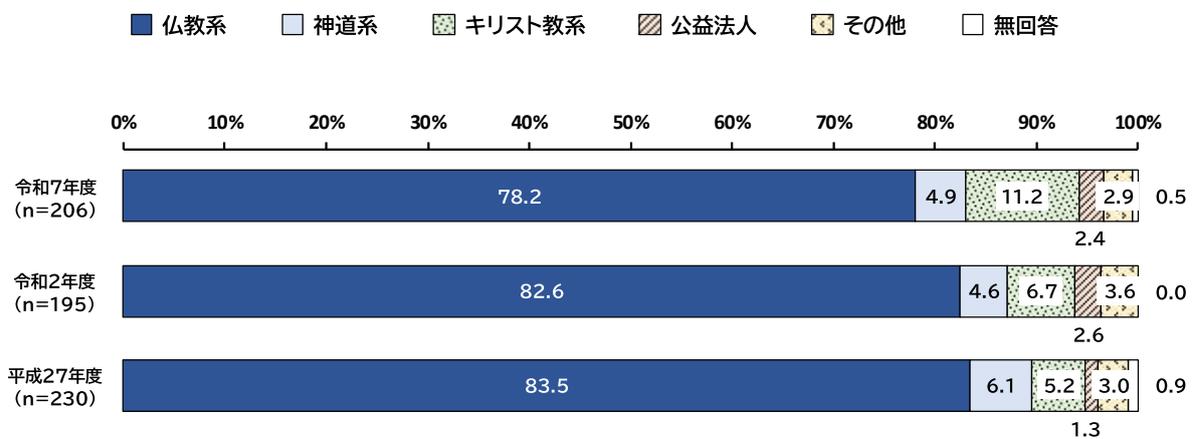
(1) 団体の種類と所在地

① 団体の種別

問1. 貴団体は次のどれにあてはまりますか。

団体の種別をみると、「仏教系」が78.2%と最も多くなっている。次いで「キリスト教系」(11.2%)、「神道系」(4.9%)、「その他」(2.9%)、「公益法人」(2.4%)となっている。
過去の調査結果と比較すると、「仏教系」が減少し、「キリスト教系」が増加している。

図表3-1 団体の種別

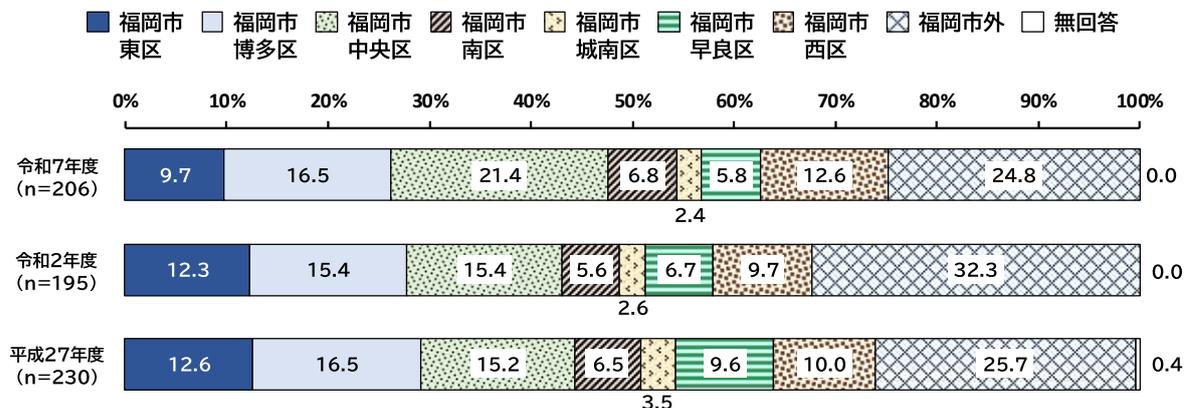


② 団体の所在地

問2. 貴団体の主たる事務所の所在地はどこですか。

法人の主たる事務所の所在地をみると、「福岡市外」が24.8%と最も多くなっている。次いで「福岡市中央区」(21.4%)、「福岡市博多区」(16.5%)、「福岡市西区」(12.6%)となっている。
過去の調査と比較すると、「福岡市中央区」が増加傾向にあり、「福岡市東区」が減少傾向にある。

図表3-2 団体の所在地



(2) 墓地に関する事項

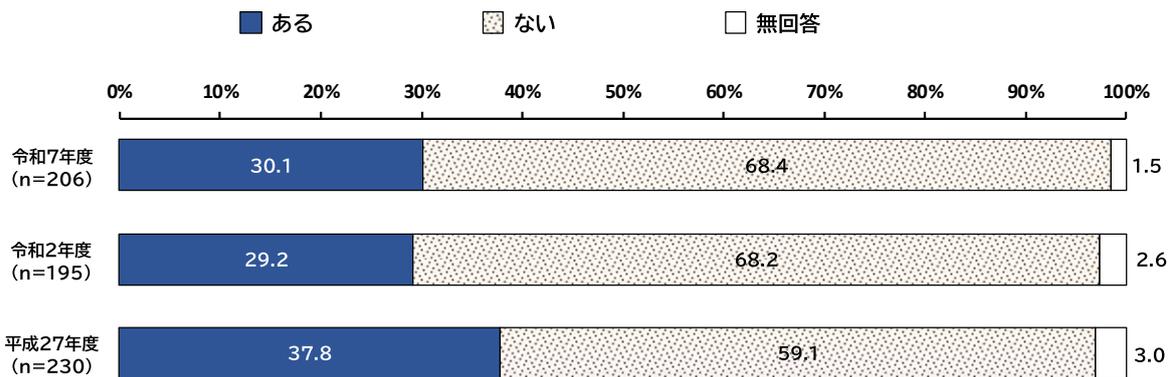
① 墓地（霊園を含む。）の有無

問3. 貴団体所有の墓地（霊園を含む。以下同じ。）はありますか。

法人の墓地の所有状況を見ると、「ある」が30.1%、「ない」が68.4%となっている。

過去の調査と比較すると、平成27年度（以下、「前々回」という。）から令和2年度（以下、「前回」という。）にかけて、「ある」が減少したが、前回と令和7年度（以下、「今回」という。）は同水準で推移している。

図表3-3 墓地の有無



② 墓地の所在地（墓地を所有している団体）

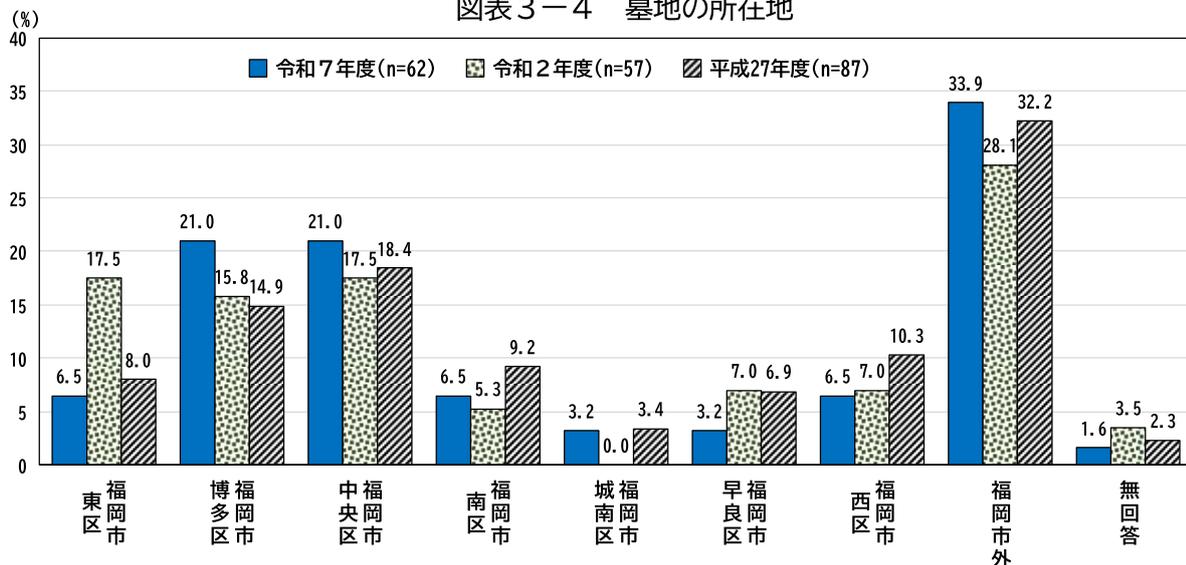
問3-1. その墓地はどこにありますか。

（複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。）

団体が所有している墓地の所在地を見ると、「福岡市外」が33.9%と最も多くなっている。次いで「福岡市博多区」と「福岡市中央区」が各21.0%となっている。

過去の調査と比較すると、「福岡市外」、「福岡市博多区」、「福岡市中央区」は令和2年度からの増加が大きく、逆に、「福岡市東区」は減少が大きくなっている。

図表3-4 墓地の所在地



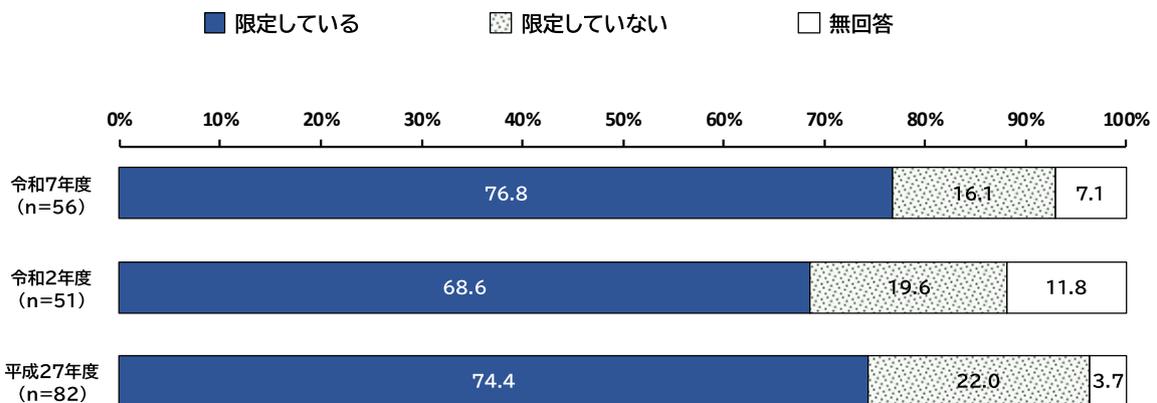
③ 宗教団体における墓地利用者の限定（墓地を所有している宗教団体）

問3-2. 宗教団体の方におたずねします。
 （宗教団体以外の方は、問3-3へお進みください。）
 墓地利用者は、檀家（自宗派）に限定していますか。

墓地を所有している宗教団体において、墓地の利用者を檀家（自宗派）に限定しているかどうかをみると、「限定している」が76.8%、「限定していない」が16.1%となっている。

過去の調査と比較すると、前々回から前回にかけて「限定している」は減少したが、前回から今回にかけては増加し、前々回とほぼ同程度となっている。

図表3-5 墓地利用者の限定



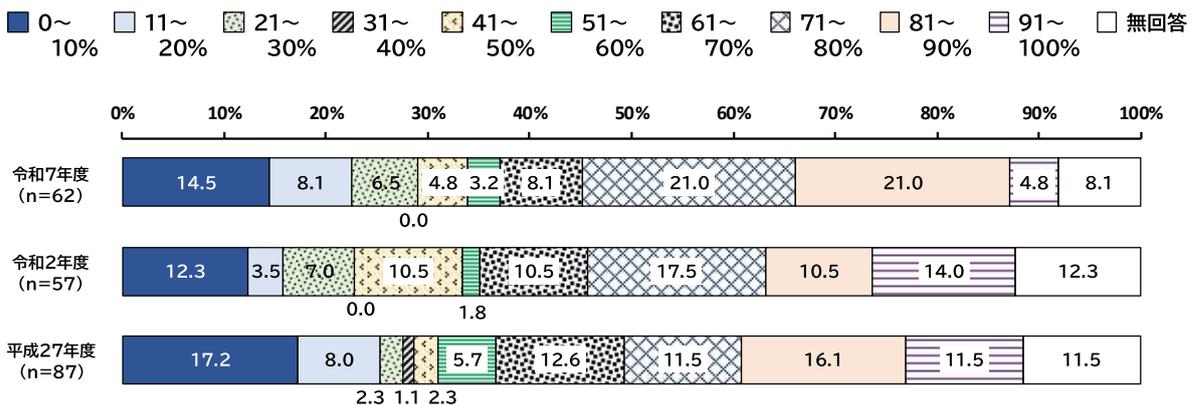
④ 墓地利用者のうち福岡市内居住者の割合（墓地を所有している団体）

問3-3. 墓地利用者のうち、福岡市内居住者の割合はおよそどのくらいですか。

墓地利用者のうち、福岡市内居住者の割合をみると、「71～80%」と「81～90%」が各21.0%と最も多く、71%以上の割合は、合計46.8%となっている。

過去からの調査と比較すると、71%以上の割合が前々回39.1%、前回42.0%、今回46.8%と増加傾向にあり、今回はほぼ半数を占めるようになっている。

図表3-6 墓地利用者のうち福岡市内居住者の割合



⑤ 墓地の区画数（墓地を所有している団体）

問3-4. 墓地は全部で何区画ありますか。
 （墓地が複数ある場合は合計の区画数をご記入ください。）

墓地を所有する62団体のうち、55団体から具体的な区画数の回答が得られ、供給される墓地の区画合計数は78,715区画となっている。平均値は1,431.2区画、中央値は120区画となっている。また、最小値は1区画、最大値は20,000区画となっている。1,000区画以上の大規模墓地を所有するのは9団体で、具体的な区画数の回答が得られた55団体に占める割合は16.4%となっている。

大規模墓地を持つ団体は、2割弱となっているが、所有する区画数の合計は73,324区画と全体の93.2%を占め、福岡都市圏における墓地の供給は大規模墓地によりそのほとんどが供給されていることがわかる。

⑥ 墓地の種類別区画数（墓地を所有している団体）

問3-4-1. 墓地区画のうち、次の墓地はそれぞれ何区画ありますか。

墓地を所有する62団体における無縁墓地、未使用墓地、合祀用墓地の区画数及び市民が利用する考えられる区画数は、以下のようになっている。

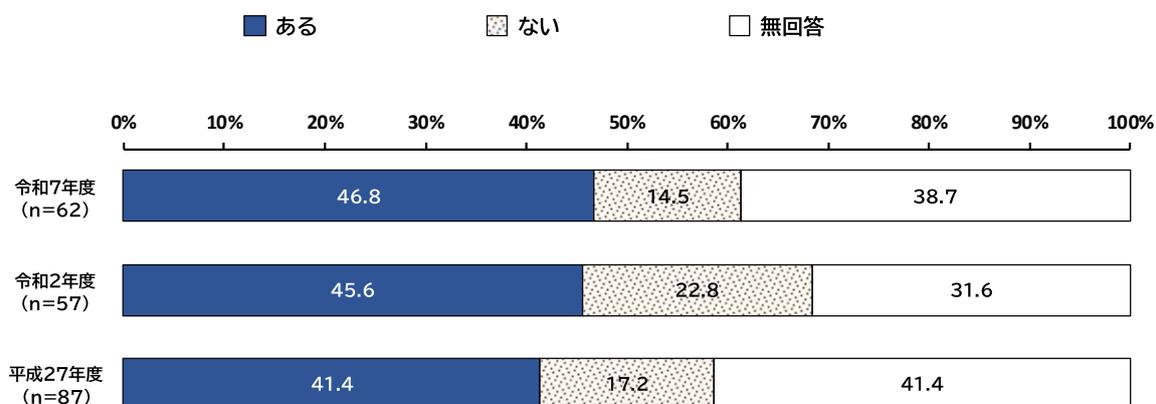
《無縁墓地》

墓地を所有する62団体のうち38団体から具体的な区画数の回答が得られ、そのうち無縁墓地を1区画以上所有しているのはうち29団体である。

無縁墓地を1区画以上所有する29団体の無縁墓地の区画合計数は570区画となっている。平均値は19.7区画、中央値は7区画となっている。また、最小値は1区画、最大値は200区画となっている。

問3-4で得られた墓地の区画合計数78,715に占める無縁墓地率は0.7%となっている。

図表3-7 無縁墓地の有無



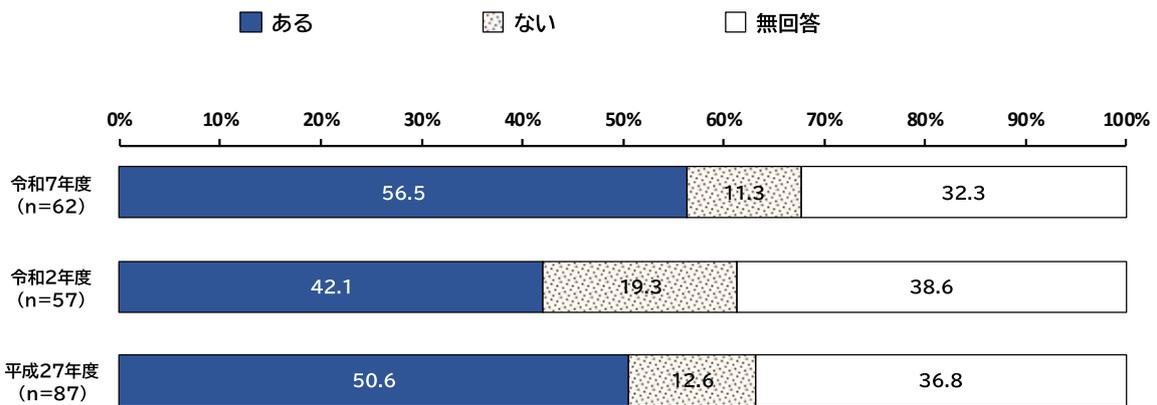
《未使用墓地》

墓地を所有する 62 団体のうち 42 団体から具体的な区画数の回答が得られ、そのうち未使用墓地を 1 区画以上所有しているのはうち 35 団体である。

未使用墓地を 1 区画以上所有する 35 団体の未使用墓地の区画合計数は 15,977 区画となっている。平均値は 456.5 区画、中央値は 36 区画となっている。また、最小値は 1 区画、最大値は 5,000 区画となっている。

未使用墓地 15,977 と無縁墓地 570 の合計 16,547 区画が供給能力と考えられ、問 3-4 で得られた墓地の区画合計 78,715 に占める割合は 21.0%となっている。

図表 3-8 未使用墓地の有無

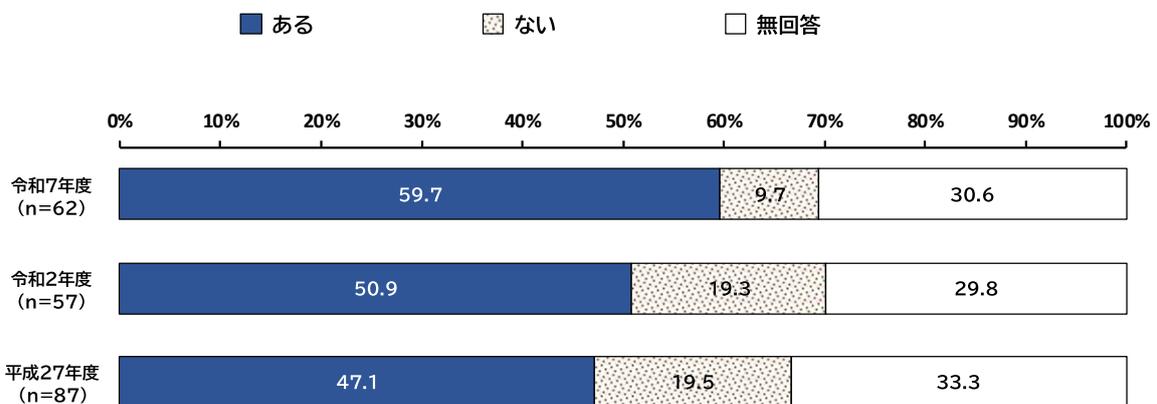


《合祀用墓地》

墓地を所有する 62 団体のうち 43 団体から具体的な区画数の回答が得られ、そのうち合祀用墓地を 1 区画以上所有しているのはうち 37 団体である。

合祀用墓地を 1 区画以上所有する 37 団体の合祀用墓地の区画合計数は 3,842 区画となっている。平均値は 103.8 区画、中央値は 1 区画となっている。また、最小値は 1 区画、最大値は 2,000 区画となっている。

図表 3-9 合祀用墓地の有無



⑦ 墓地の新設・拡張予定

問4. 墓地を新しく建設又は拡張する計画はありますか。

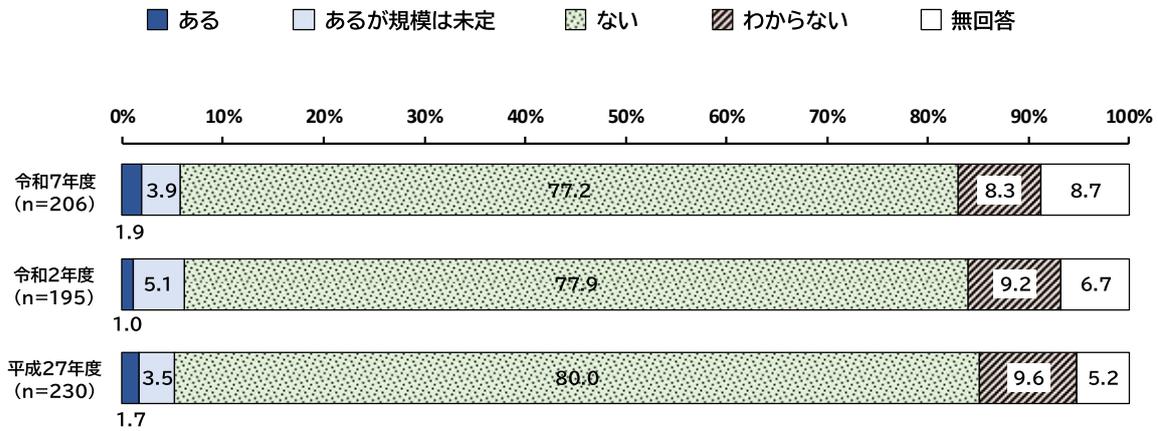
墓地を新しく建設又は拡張する計画としては、「ある」は1.9%、「あるが規模は未定」が3.9%、合計すると5.8%が新しく建設又は拡張する計画がある団体である。

なお、「ない」が77.2%と8割近くを占め、「わからない」が8.3%となっている。

過去からの調査と比較しても、大きな変化はみられない。

また、拡張計画がある場合の区画数には3団体から回答があり、2団体が5,000区画、1団体が1,000区画と回答している。

図表3-10 墓地の新設・拡張予定



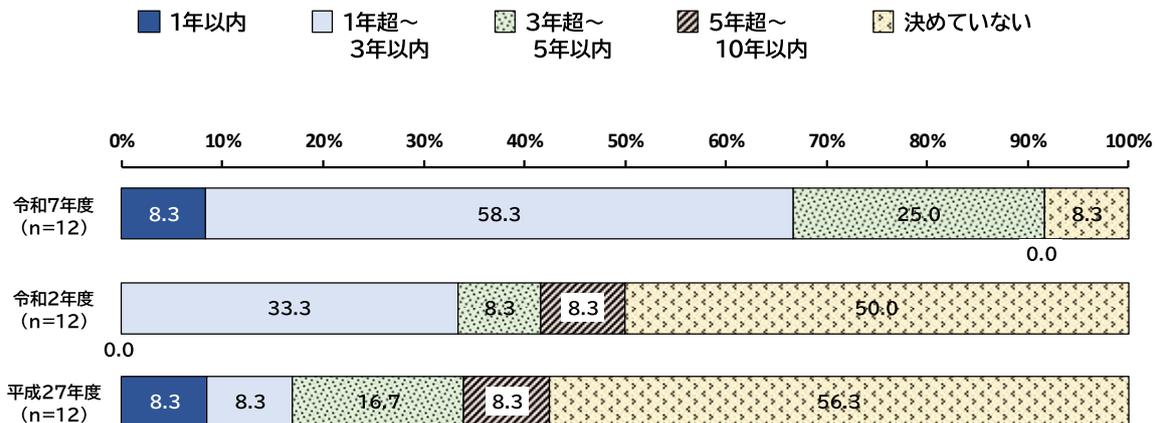
⑧ 墓地の新設・拡張予定の時期（墓地を新設・拡張予定がある、あるが規模は未定の団体）

問4-1. 墓地を新しく建設又は拡張する時期は、いつ頃を予定していますか。

墓地を新設・拡張予定がある、あるが規模は未定と回答した12団体が予定している時期としては、「1年超～3年以内」が58.3%と最も多く、次いで「3年超～5年以内」(25.0%)となっている。

過去の調査結果と比較すると、「1年超～3年以内」が前々回8.3%、前回33.3%、今回58.3%と増加している。逆に、「決めていない」は前回の50.0%から8.3%に減少している。

図表3-11 墓地の新設・拡張予定の時期



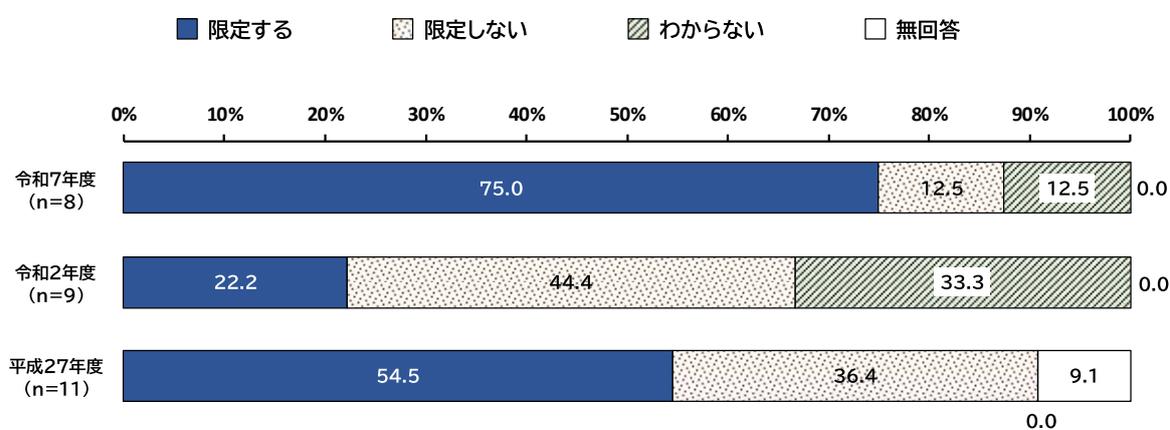
⑨ 墓地の利用者限定（墓地を新設・拡張予定がある、あるが規模は未定の宗教団体）

問4-2. 宗教団体の方におたずねします。
 （宗教団体以外の方は、問5へお進みください。）
 墓地を新しく建設又は拡張するとした場合、利用者は檀家（自宗派）に限定しますか。

墓地を新設・拡張予定がある、あるが規模は未定と回答した12団体のうち、宗教団体である8団体について檀家（自宗派）に限定した利用有無をみると、「限定する」が75.0%、「限定しない」が12.5%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「限定する」は前々回54.5%から前回は22.2%に減少し、今回は75.0%に増加している。

図表3-12 墓地の新設・拡張した場合の利用者限定



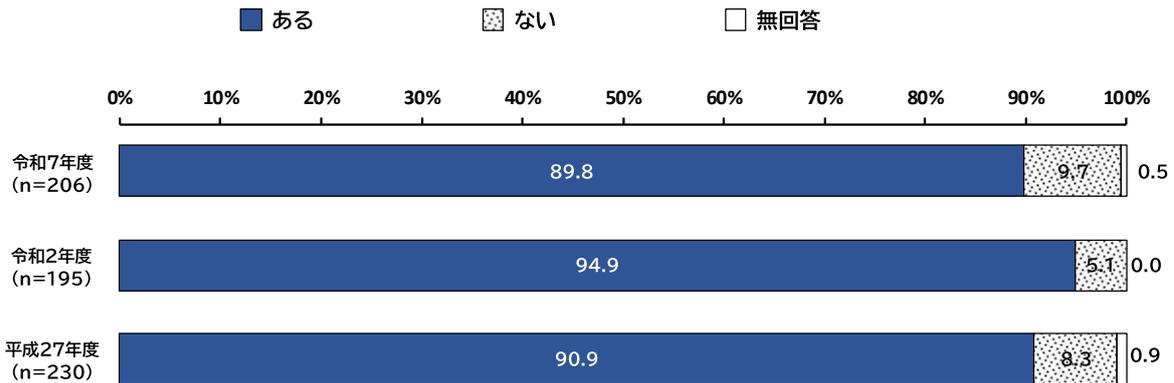
(3) 納骨堂に関する事項

① 納骨堂の有無

問5. 貴団体所有の納骨堂はありますか。

所有納骨堂の有無としては、「ある」が89.8%、「ない」が9.7%となっている。
過去の調査結果と比較すると、「ある」が前回の94.9%から89.8%に減少している。

図表3-13 納骨堂の有無



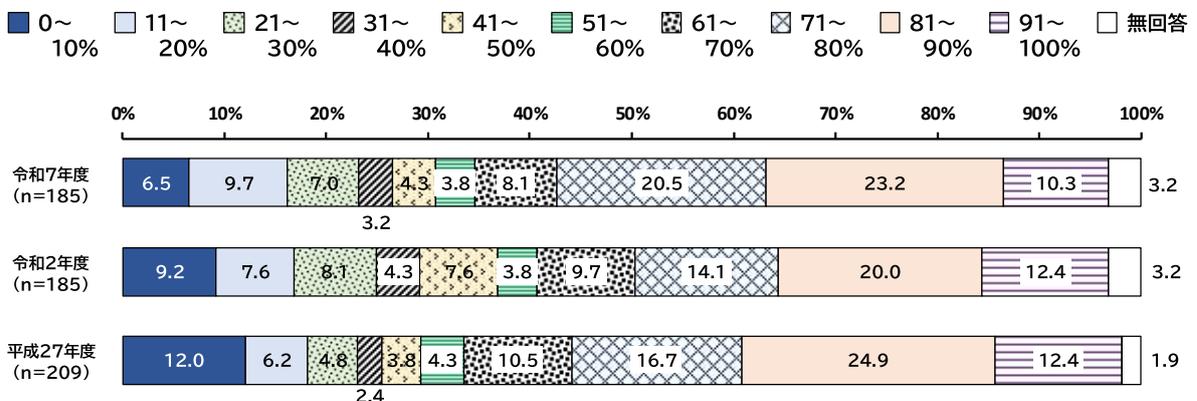
② 納骨堂利用者の福岡市内居住者の割合（納骨堂を所有する団体）

問5-1. 納骨堂利用者のうち、福岡市内居住者の割合はおよそどのくらいですか。

福岡市内居住者の割合としては、「81~90%」が23.2%と最も多くなっている。次いで「71~80%」(20.5%)、「91~100%」(10.3%)となっている。

過去の調査結果と比較すると、特に大きな変化はみられない。

図表3-14 納骨堂利用者の福岡市内居住者の割合



③ 納骨堂の壇数（納骨堂を所有する団体）

問5-2. 納骨堂は全部で何壇ありますか。
 （納骨堂が複数ある場合は合計の壇数をご記入ください。）

納骨堂を所有する 185 団体のうち 181 団体から具体的な区画数の回答が得られ、その合計壇数は 93,758 壇となっている。

平均値は 518.0 壇、中央値が 250 壇となっている。また、最小値は 1 壇、最大値は 22,804 壇となっている。1,000 壇以上の納骨堂を持つ大規模団体は 14 団体で、43,710 壇を所有している。

④ 未使用の壇数（納骨堂を所有する団体）

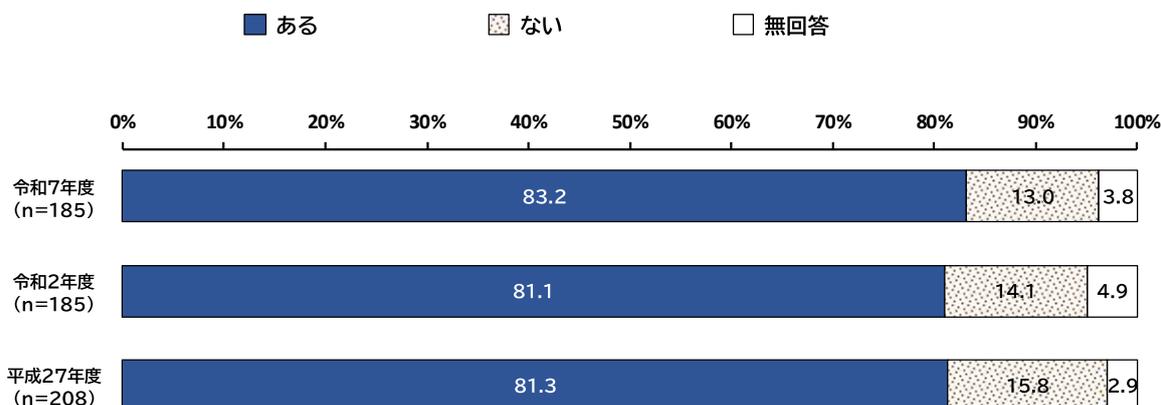
問5-3. 現在、未使用の壇数はいくつですか。
 （納骨堂が複数ある場合は合計の壇数をご記入ください。）

納骨堂を所有する 185 団体のうち 178 団体から具体的な壇数の回答が得られ、そのうち未使用壇を 1 壇以上所有しているのは 154 団体である。

未使用壇数を回答した 154 団体の合計壇数数は 17,748 壇、平均値は 115.2 壇、中央値が 28 壇となっている。また、最小値は 1 壇、最大値は 5,449 壇となっている。

過去の調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表3-15 未使用の壇数



⑤ 納骨堂の建築・増築計画の有無

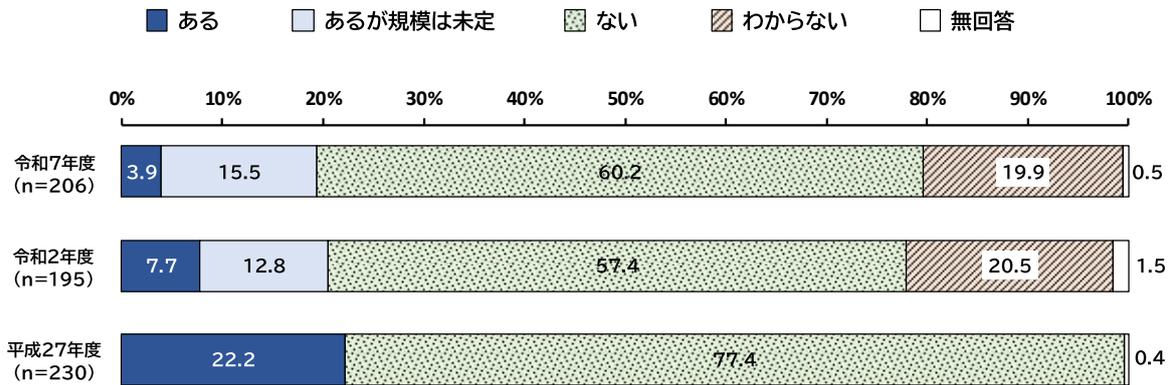
問6. 納骨堂を新しく建築又は増築する計画はありますか。

納骨堂を新しく建築又は増築する計画としては、計画がある団体としては、「ある」が3.9%、「あるが規模は未定」が15.5%となっている。また、「ない」が60.2%と最も多くなっている。

納骨堂の新築・増築計画のある8団体によって新築・増築される納骨堂の壇数は2,917壇である。

過去の調査と比較すると、「ある」と「あるが規模は未定」を合計した割合を計画があるとするならば、大きな変化はみられない。

図表3-16 納骨堂の建築・増築計画の有無



※令和2年度から「あるが規模は未定」、「わからない」を追加した。

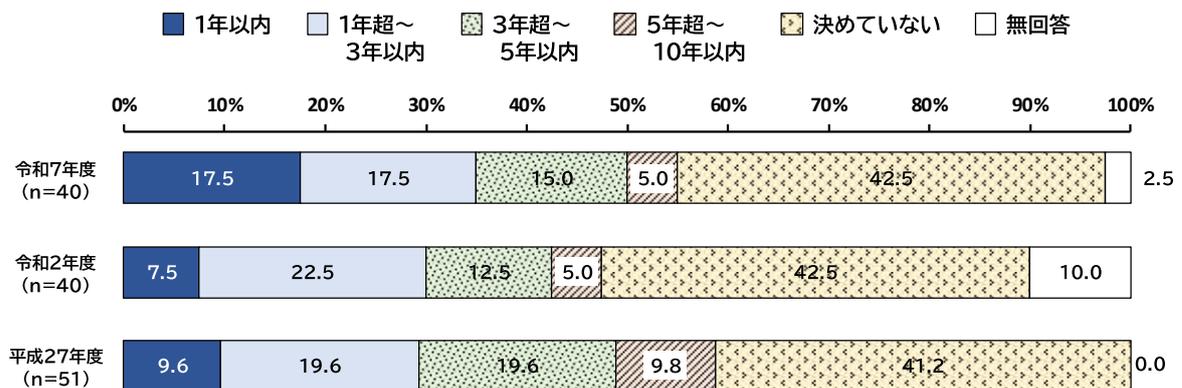
⑥ 納骨堂の建築・増築の時期（墓地を新設・拡張予定がある、あるが規模は未定の団体）

問6-1. 納骨堂を新しく建築又は増築する時期は、いつ頃を予定していますか。

納骨堂を新築・増築計画が「ある」「あるが規模は未定」と回答した40団体が納骨堂の新築・増築計画の予定している時期としては、「1年以内」と「1年超～3年以内」が各17.5%、「3年超～5年以内」が15.0%となっている。また、「決めていない」が42.5%と最も多くなっている。

過去の調査結果と比較すると、「1年以内」が前回の7.5%から17.5%に増加している。

図表3-17 納骨堂の建築・増築の時期



⑦ 利用者限定（墓地を新設・拡張予定がある、あるが規模は未定の宗教団体）

問6-2. 宗教団体の方におたずねします。
 （宗教団体以外の方は、問7へお進みください。）
 納骨堂を新しく建築又は増築するとした場合、利用者は檀家（自宗派）に限定しますか。

問6で納骨堂を新築・増築計画が「ある」「あるが規模は未定」と回答した40団体のうち、宗教団体37団体の納骨堂の自宗派限定の有無をみると、「限定する」が86.5%、「限定しない」が5.4%、「わからない」が2.7%、「わからない」が2.7%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「限定する」が前回の76.3%から86.5%に増加している。

図表3-18 建築・増築した納骨堂の利用者限定

